



『憧れの人』はいますか？

たまい小児科 院長 玉井友治

突然ですが、みなさんに憧れの人はいますか？

私には、憧れの先輩がいます。常にその人を目標にして頑張っています。

私と同じ小児科医ですが、医師としても1人の人間としても憧れています。

では、なぜその人が私の憧れなのか？

医師としての知識・技術はもちろんですが、彼の話はとても面白く、どんどん引き込まれます。更に、自分の理想と目標が常に見えており、冷静で判断力・行動力に優れているのです。その一方で、非常に謙虚で周りへの配慮を常に忘れず、誰にでも分け隔てなく接し、声をかけて気遣ってくれる。後輩達の将来をいつも考え、応援してくれる…。等々、挙げればきりがありません。とにかくすごいエネルギーの持ち主なのです。年齢を経てもそのエネルギーは少しも衰えることはありません。

私がこの先生の傍で働いていた頃、「世の中に、こんなにかっこいい人がいるのか～」  
「自分もこの人に近づきたい」「自分もこの人みたいになりたい」といつも思っていました。  
以来、僕の目標の医師であり憧れの存在です。

さて先日、新聞を読んでいたら、素敵な作文を見つけました。とても作者の気持ちに共感し、心が洗われる思いがしました。是非皆さんにも読んでいただきたいと思いましたが掲載します。「憧れの人に出会うには年齢は関係ないのだなあ」と思い、また、「憧れの人にかけてもらった言葉は自分の心の励みや勇気につながるのだなあ」と改めて感じた作文です。多くの子どもたちに、憧れの人が見れることを願って紹介します。

\*\*\*\*\*

「一本の電話」 国東市富来小学校 5年 岡野 駿平

ぼくは、野球部に入っています。何よりも野球が好きなので、いつも練習にがんばっています。今年の夏、六年生の最後の試合が終わり、いよいよぼくたち五年生が中心となり部をひっぱっていくことになりました。そして、キャプテンを決める時のこと。かんとくが「キャプテンをやりたい人」と聞きました。ぼくはまよわず、「はい」と手を挙げました。

ぼくは、クラスで何かの役を決めたりする時、どちらかという、そんなに積極的に立候補する方ではありません。でも、野球部のキャプテンには、絶対なりたいと思っていました。ぼくが、キャプテンになりたいと思っていた理由は、チームをひっぱり、勝って県の大会に出たいという気持ちと、もう一つちがう理由がありました。

それは、ぼくには、ずっとあこがれていたキャプテンがいたことです。ぼくが四年生の時のキャプテン、夢輝くんです。夢輝くんはキャプテンとしてだれよりも努力していて、みんなを引っばってってくれました。練習が終わった後、家の前ですぶりをしている姿を何度も見たし、練習が休みの日にも、「駿ちゃん一緒にやろう」と自主練習にさそってくれたりしました。

なのでぼくは、キャプテンになった日、「夢輝くんみたいなキャプテンになるぞ」と心の中でちかいました。

ぼくがキャプテンになることが決まった四日後、一本の電話がかかってきました。夢輝くんからでした。

「駿ちゃん、キャプテンになったらいいなあ」

「うん」

「新人戦で10番つけちゃんとこ見たいな」

「うん」

「こまった時はかんとくやコーチに聞いてがんばってな」

「うん。夢くんみたいなキャプテンになるね」

短い電話だったけど、夢輝くんの一言のアドバイスがとてもうれしかったです。そのことを教えてくれるためにわざわざ電話をかけてくれた夢輝くんの気持ちが、ぼくに自信とやる気をたくさんくれました。

夢輝くんがキャプテンをしている時からぼくたちにしてくれていたこと。一つひとつは小さなことだったかもしれないけど、それが積み重なっていくと、人の気持ちも変えてくれるような大きなことになるということがわかりました。

夢輝くんがいい結果が伝えられるように、キャプテンとしてがんばっていこうと思います。

(1)





## ◎ インフルエンザが流行しはじめています！

市中で、インフルエンザが流行しはじめています。  
今回は、その注意点について述べます。



### ☆ インフルエンザの家庭での対処

インフルエンザは、高熱、全身のきつさ、筋肉痛、関節痛などの全身症状が非常に強い病気です。体力を消耗しないよう安静に努め、脱水症状に気をつけて水分を補給しましょう。

インフルエンザの治療を開始したにもかかわらず、3～4日たっても解熱しない場合は、再度受診してください。二次感染による中耳炎や気管支炎、肺炎など、合併症の有無の評価が必要です。咳、鼻水は、1週間程度は続くことが多いようです。

### ☆ 異常行動、言動

インフルエンザの合併症として、小児では、脳炎・脳症の発症に注意が必要です。

脳炎・脳症の初発症状は、異常な行動や言動です。しかし昔から、インフルエンザにかかると脳炎・脳症ではなくても、うなされて叫んだり、うわごとを言って徘徊するなどの異常行動が起こることが知られています。

このような異常行動は抗インフルエンザ薬の使用の有無にかかわらず起こりますので、高熱が続く病初期には特に注意が必要です。

異常な行動や言動が我に返ることなく長時間続く場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

### ☆ 家庭内感染に注意しましょう！

家族内に患者が発生すると、家族にインフルエンザが蔓延することが危惧されます。発症の予防には、家庭内での患者隔離、マスクの着用、手洗い、うがいが必須です。流行期には、不必要な人混みへの外出も出来る限り控えましょう。

インフルエンザの潜伏期間は2～3日です。家族内感染があれば、数日で次の患者さんが発症します。発熱などの症状が出た場合には、医療機関を受診し、家族がインフルエンザになったことを必ず伝えましょう。

### ☆ 最後まで治療しましょう！

処方された抗インフルエンザ薬は、症状が軽くなっても必ず指示通り最後まで使い切りましょう。途中で中止すると、症状が再燃したり、インフルエンザウイルスが耐性化する危険があります。

### ☆ 登園、登校の目安は？

学校保健安全法施行規則では、「インフルエンザは、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（乳幼児にあつては3日）を経過するまで、出席停止とする。」と定められています。

従って、保育園、幼稚園児は、発熱した日から5日を経過し、かつ、解熱した後3日以上経過するまで、登園できません。

小学生以上の学童では、発熱した日から5日を経過し、かつ、解熱した後2日以上経過するまで、登校できません。

ただし、これらはあくまでも目安です。解熱後も元気がなかったり、きつがったり、気になる症状がある場合には、全身状態が改善するまでは自宅で安静にして療養し、元気になってから登園登校しましょう。

成人についても、無理をして出勤すると、感染を広げて、多くの職場の仲間に迷惑をかけることになります。十分休養して治癒してから仕事に復帰しましょう。

### ● 1月の診療予定と休診情報 ●

\* 1月5日(日)は休日当番医ですので、8時30分から17時まで診療します。

休日当番日の診療は、通常の電話予約制ではなく、来院順の診療になりますので、ご了承ください。

\* 1月6日(月)から、通常通り診療します。

\* 1月11日(土)は、休日当番代休のため、臨時休診させていただきます。

\* 1月14日(火)の夜間は、院長が大分市小児夜間急患センターに出務して診療します。